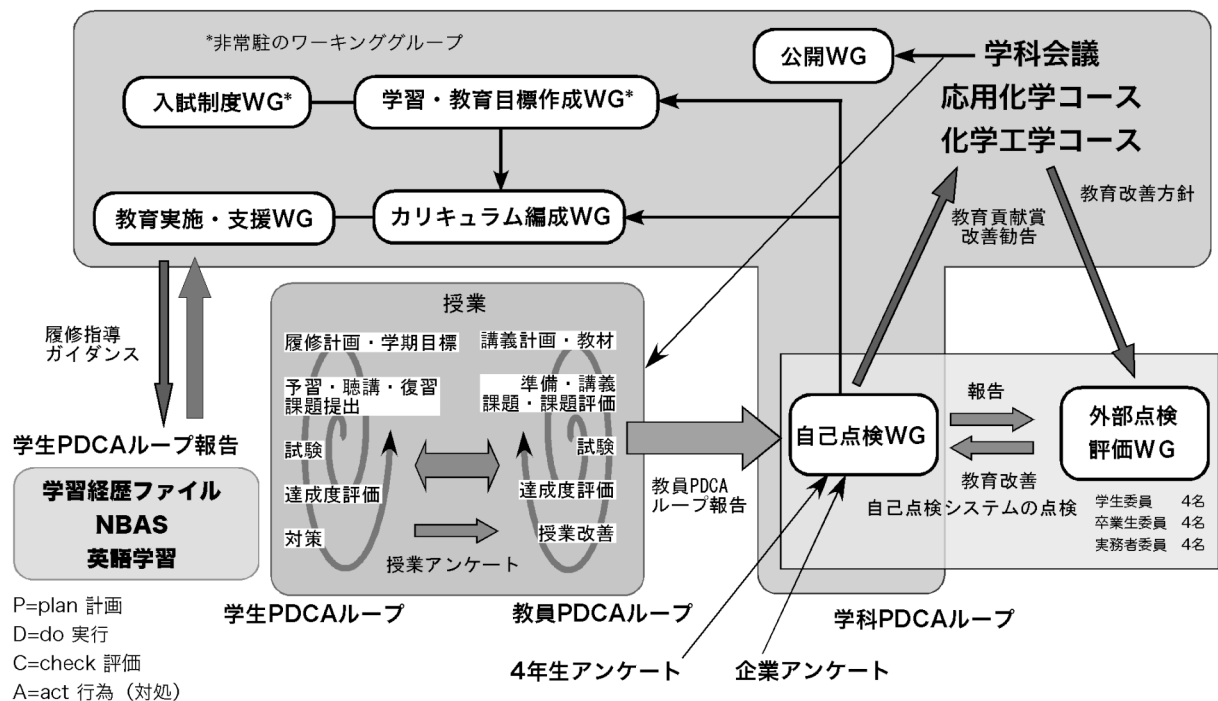


化学システム工学科（応用化学コース、化学工学コース）教育に関する組織ネットワーク



学生の学習・教育改善活動

- P 履修科目の登録（標準カリキュラム）
- D 予習，聴講，復習，課題の提出（自主的達成度評価，自主学習）
- C 教員による達成度評価（→成績・単位取得）
- A 前学期の成績評価，目標の設定（ガイダンス，学習経歴ファイル，NBAS）

教員の学習・教育改善活動

- P 科目内容の見直し（シラバス作成）
- D 科目の実施（課題等による学生の達成度確認）
- C 教員による達成度評価，科目資料の作成
- A 科目内容の評価，改善方策の作成（授業アンケート，学生の達成度）

学科の学習・教育改善活動

- P 改善活動計画の策定と公表
- D FD 活動の実施（授業参観，科目資料作成など）
- C 自己点検WGによる点検，外部点検評価WGによる自己点検活動の評価
（担当授業数，教育準備時間，講義の構成・教授技術*，学生の満足度*，自己研鑽，教育成果：*授業アンケートによる評価項目）
- A 外部点検結果に基づく改善方針の検討

9. JABEE 修了生の利点

技術者とは研究者を含めて科学技術に関わる専門的職業に就く人を指します。JABEE（ジャビー、日本技術者教育認定機構、Japan Accreditation Board for Engineering Education）は、大学や高専など高等教育機関で行われている技術者教育活動の品質が国際的に通用する水準にあることを認定する機関です。JABEE の認定を受けた教育プログラムの修了生は技術者・研究者として活動するために必要な知識や能力を身につけていると国際的に評価されます。JABEE は技術者教育の実質的同等性を相互承認する国際協定(WA, Washington Accord) に加盟が認められており、JABEE 修了生はアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、アイルランド、ニュージーランド、香港、南アフリカ、シンガポール、大韓民国、台湾、マレーシア、トルコ、ロシア、インド、スリランカ（暫定加盟国パキスタン、バングラデシュ、中国、フィリピン、ペルー、コスタリカ）の工学教育修了生（学部卒業生）と同等の資格を得ます。つまり、JABEE 修了生は WA 加盟国に留学生した学生と同等です。

化学システム工学科は、応用化学コース、化学工学コースともに 2005 年度から認定を受けています。2012 年の JABEE 認定基準の改定に伴って 2016 年度から応用化学コースと化学工学コースを一つにまとめて学科全体を一つのプログラム「化学システム工学科」に変更します。本学科の卒業生は全員が JABEE 修了の要件を満たす必要があります。

日本では「**技術士**」という**国家資格**があります。これは、その人が科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを国が認定するものです（Professional Engineer, PE に相当します）。技術士になるためには、第二次試験を合格して技術士会に登録する必要がありますが、第二次試験を受験するためには第一次試験を合格して実務経験を積む必要があります。JABEE 修了生はこの第一次試験が免除され、第一次試験合格者と同じ資格を持ちます。

技術者にとって技術士は重要な資格で、多くの企業で資格取得を奨励しています。「技術士という資格を励みとして自分の力を伸ばしたい」人は企業にとって魅力的な人材です。

科目以外の JABEE 要件

（変更がある場合には、学期毎のガイダンスで通知します）

1～3 年生 NBAS リフレクションシートの記載

（2013 年度入学生までは学習経歴ファイルの提出）

2 年生 環境レポートの提出

エネルギー講演会、工場見学への参加とレポート提出

3 年生 工場見学への参加とレポート提出

特別講義「起業化戦略基礎（知的財産権、企業経営、技術者倫理）」
の聴講と課題の合格

4 年生 卒業研修・卒業研究研究のマネジメント（卒業研究従事ノートの作成）